



保育所だより



令和2年6月号
中部保育所

TEL 63-3221 090-5693-1233

所庭の木々が陽ざしを浴びて葉も色濃く茂ってきました。保育所の畑やプランターに植えた夏野菜も、子どもたちの水やりのおかげで、日に日に大きくなっています。

保護者の皆様には、新型コロナウイルス感染防止のため、登所自粛要請へのご理解とご協力に深く感謝申し上げます。5月18日(月)からは通常どおりの保育が再開し、保育所には子どもたちの賑やかな声が戻ってきました。登所後すぐに所庭に出ては、ブランコやうんてい、登り棒などの遊具で体を存分に動かして遊んでいます。全国的にも、緊急事態宣言の解除がなされましたが、今後も引き続き、手洗い・うがいを行って感染予防に努めます。

もうすぐ梅雨の時期を迎えます。雨の音を聞いたり、雨の中の散歩を楽しんだり、虹などの空の様子を見たりします。また、身近に生息しているかたつむりやカエルを探したり、近くの川へ行き、オタマジャクシやドジョウなどを捕まえ飼育し、生態を間近で見たり触れたり、世話をしたりすることで、生命の不思議さや命の大切さについて考える機会を持ちたいと思います。

この時期は、気温・湿度ともに高くなり、暑さに体がまだ慣れていないことから熱中症になりやすく、体調を崩してしまいがちです。十分な睡眠をとり、朝ごはんをしっかり食べて元気に過ごしましょう。

6月の行事予定

- 1日(月) お集まり会 安全の日
 笹の仕分け(きりん組参加)
- 2日(火) 節句会(※きりん・ぱんだ・うさぎ組はエプロンと三角巾を持って来てください)
 あいさつ運動
- 3日(水) 巡回相談日(山田心理相談員来所)
- 4日(木) 尿検査提出
- 8日(月)~12日(金) 身体測定週
- 11日(木) 弁当の日
- 16日(火) 避難訓練
- 18日(木) 保護者会役員会② 18:30~
- 19日(金) 誕生会
- 22日(月) 集金日
- 26日(金) 尿検査予備日 布団持ち帰り



<きりん組>



7月の主な予定

- 1日(水) ◆プール開き
- ◆のついている行事につきましては、後日お便りで詳しくお知らせします。



◆お昼寝用バスタオルの持ち出しについて

気温に応じてお昼寝にバスタオルも使用します。用意ができましたら持って来てください。(記名を大きく)

週末に持ち帰りますので、洗濯をして月曜日にお持ち出してください。掛け布団ももうしばらく使用します。

◆安全の日について

毎月、職員が視聴覚教材を使ったり、劇をしたりして安全について指導を行います。



☆愛宕山で遊んだよ☆



<ぱんだ・きりん組>

片道約30分の道のりもしっかり歩くことができますよ。保育所とは違う遊具があり、楽しんでいます。



☆親水公園にお散歩に行ったよ☆



<うさぎ組>

木の幹をのぞいて何やら探しています。「あ!虫がおった!」

☆所庭で砂あそびをしたよ☆



<りす組>

砂場に新しい砂が入りました!りす組さんのお気に入りの場所です♥



<ひよこ・ことり組>

ひなたぼっこやかけっこなどを楽しんでいます。

保育目標~いろいろな感触を楽しもう。

雨あがりの所庭にできた水たまりや泥山の水、砂、泥に触れて全身を使って思う存分遊びたいと思います。また、小麦粉・片栗粉・石鹸・絵の具などの身近な素材に実際に自分の手や肌で触れる体験をし、様々な感触を味わうことができるようにしていきます。

生活目標~歯磨きを丁寧にしよう。

子どもたちの年齢に応じて看護師が歯磨き指導を行います。大きいクラスでは、歯の模型や染め出し液を使って磨き方の指導をします。小さいクラスでは、歯磨きに好奇心が持てるように働きかけたり、仕上げ磨きを丁寧にしたりしていきます。使っている歯ブラシの毛が広がっているときれいにみがけませんので、こまめな点検をお願いします。

☆子育てのヒント

「待つ」

子どもに寄り添うということとは

児童臨床医の佐々木正美先生の『花咲く日を楽しみに』という本の中に、「待つこと」の大切さについて書かれている内容がありましたので、ご紹介します。



何かを育てることの上手な人は、待つ力のある人です。そして「待つ」ということは、「信じる」ということと同じ意味です。

子どもというものは土にまみれた球根のようなものです。どんな花が咲くかはわからない。けれど、きっと美しい花が咲く。それがいつかはわからなくても、信じて、日に当て、水をやり、ときには少し肥料を与える。大輪の花か、小さいけれど強い花か、わからないけれどきっと咲くと信じて辛抱強く見守っていける人こそ、子育ての上手な人です。

子どもは待ってもらっている時間の中で「自律心」を育てます。自律心とは、自分のことを自分で決める力です。親にあれこれ口を出されていると、ゆっくり考えることができなくなるのです。十分に熟した野菜が美味しいように、待ってもらうことで自立した大人に育つのです。

大切に育てた花が咲いたとき、その喜びはいかばかりかと思えます。けれど、その時気がつくのです。本当に幸せだったのは、「どんな花が咲くのだろう」と思いながら待つ時間だったということに。

一部抜粋

急いでいる時や心に余裕がない時は、つい口出ししてしまったり、手を貸してしまったりすることがありますね。例えば、「靴を履く時」「服を着替える時」など……。生活の中で大人が待ってみる習慣をつけるだけで、子どもたちは「自分でした」という満足感を味わうことができます。また、言葉をかけるとしたら「どうやったら〇〇はできるかな?」など、ヒントになるような言葉をかけるようにすると、思考力はぐんと深まり、「考えて動ける子」になると思えます。

子どもに寄り添い、辛抱して待ってみませんか。素敵な花が咲くと信じて……。

ご寄贈ありがとうございます

ございました

・地域の方~カニ